

「アトリエ美術館」は、作家と市民がともにつくり、作家の造形思想に触れ、

交流することを目的として1998年に始まった企画展です。

23回目となる今回は、主にガラスや鏡、電球、紙片などの

異素材を結びつけたインスタレーションを手がける小出麻代を迎えます。

小出による造語である「うつしがたり」というタイトルからは、

様々な意味を読みとることができます。

「写し」「映し」「移し」「現し」……。

そこには視覚や嗅覚といった感覚や空間、時間などの重なりが見えてきます。

また、「かたり」という言葉は「語り」であり、物語る行為を示しています。

本展で小出は、透明樹脂や写真、鏡などの素材に加え、御殿山の歴史や日々の風景、

そしてそこに暮らす人々が心のうちにしまっていた記憶などを重ね合せ、

多層的な空間を作り出します。

展覧会を訪れた人は、作品にうつしだされた御殿山の姿をかたり合い、

その物語に耳を傾けながら、未来を胸のうちにうつし、

新たなものがたりを紡ぎ始めるでしょう。

アーティストトーク

日時 | 2019年11月30日(土) 17:00-

会場 | 1Fロビー

聞き手 | 伊藤まゆみ
(京都精華大学 展示コミュニケーションセンター 特別任用講師)

入場無料, 事前申し込み不要

オープニングパーティ

日時 | 2019年11月30日(土) 18:00-

会場 | 創作室1

入場無料, 事前申し込み不要

ワークショップ

うつしの味わい——空間と想像を味わう為の時間

日時 | 2019年12月21日(土)
(昼の間)14:00-15:00 (夜の間)17:00-18:00

会場 | 創作室3

参加費 | ¥1,000-(お菓子, お茶付き)
定員 | 各回10名(先着順, 要事前申し込み)
問い合わせ・申し込み先 | 御殿山生涯学習美術センター

予約開始 | 11月23日(土・祝) 10:00-

小出麻代 | Mayo Koide <http://www.mayokoide.net>

1983年大阪府生まれ。2009年京都精華大学大学院芸術研究科博士前期課程修了。
近年の展覧会に、個展「地に還る／地から足を離す」(Gallery PARC, 京都, 2018),
「生業・ふるまい・チューニング 小出麻代—越野潤」(京都芸術センター, 2018),
「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2015 枯木又プロジェクト」(旧枯木又分校, 新潟, 2015)など。
アーティストインレジデンスに「END OF SUMMER」(Yale Union, ポートランド, アメリカ, 2018)など。

枚方市立御殿山生涯学習美術センター企画展

アトリエ美術館 vol.23

うつしがたり | 小出麻代展

Teller's tales: Mayo Koide

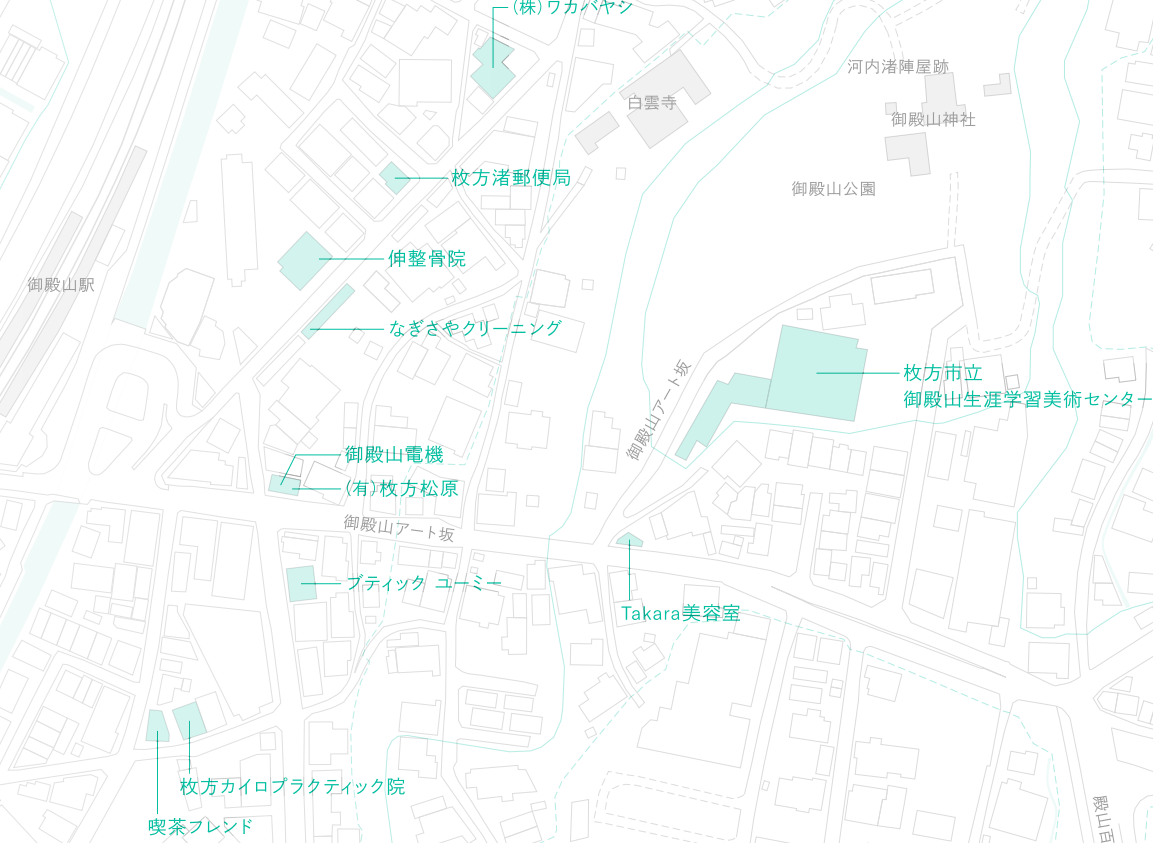
2019年11月29日(金) — 12月26日(木)
枚方市立御殿山生涯学習美術センター

平日・土 | 9:00-21:00 日・祝 | 9:00-17:00 休館日 | 12月23日(月)

入場無料

〒573-1182 大阪府枚方市御殿山町10-16
Tel. 050-7102-3135 Fax. 072-847-8351
<http://www.hira-manatsuna.jp/gotenyama/>

アクセス | 京阪電車御殿山駅下車, 東へ徒歩約5分
*駐車場台数が少ない為、車での来館はお控えください。



した 

う、サキさん
に伝えてくれ
しかった

せみかみんみん なっていた。

知っている人の家を見つけた。

今日と友達なんだ



世
24
24
7
17
7=0

たいふうが来る
かぜが強い

きょうあついか
らいやた

ついでせみをみつけ
たしんでいい
ました

くしかたとかがとむしか
6くにんもみへてうれしか



かぶ"ともしつけ



しどう会で
友だちと
オセロ
をした

きょう、ハンバークーあんを食べました。

あ
あ
あ
つ
い
た
す
け
て
く
れ
よ
神
さま
よ

遊びました。
今日、友たちと。

ふらんこで2人乗り

友
だ
ち
と
2
人
の
り
し
た

せみか
うさかたけと
おっ友たちとお
とひいた。

おしろきたいな
マンションを
みつけた。



すぐしくなった。
くもった風景
せ24.24
フルカニ
キウを見た。
テレビで
高校
校野

か
う^いと
む
し
み
つ
け
た



২৫

ちんとはあま
したかき

今日、家の
お庭に、30ぴき以上の
セミがいまして、
お花の

びす。
 とでもたのしかつた。
 をつくろひました。
 でまんげき、う
 きょうとしよかん

しんじかたしお
なにかかす
いた

はいはい
しょうかんが
あった。

むかしすんでた、だんち

ふたりで
しゃべってた
まをした
ひとり
はちやわ
いしや
まが
さうして
はお
しゃべってた
で
てきていた